



花緑輝

令和 2 年度
学校報 3 月号③
大 仙 市 立
太 田 中 学 校

別れが加速する 3 月



～輝望の巣立ちの日も近づく～

いよいよ輝望学年の皆さんの卒業の日が近づいてきました。とても素直で、真面目に頑張ることができた皆さんに一言エールを送ります。

- 1831 年 事業に失敗…
- 1832 年 州議員選挙敗退
- 1833 年 再び事業が…
- 1934 年 州議員選挙敗退
- 1838 年 州議長選挙敗退
- 1846 年 下院議員選挙当選
- 1855 年 上院議員選挙敗退
- 1859 年 上院議員選挙敗退
- 1860 年 大統領に当選！

「粘り強さにとってかわるものはこの世にひとつもない」

(J・ウッデン ※アメリカの伝説的バスケットボールコーチ) この方は、著書の中で次の例を挙げています。

アメリカの最も偉大な大統領の一人であるリンカーンの経歴を見てください。リンカーンほど多くの逆境を経験した大統領はいません。しかし、信念を貫き勝利をおさめました。粘り強さは、不可能に思えることを可能にします。逆風の時こそアップ・グレードのチャンス！勇気をもって次の一步を踏み出してください。輝望学年に栄光あれ！

3年生に感謝する会



○生徒会執行部が企画し、1・2年生が力を合わせて開催した会です。転任された先生方からのビデオメッセージもありました。「あとは任せて！」と3年生に伝える会でもあります。



【卒業直前の心境を聞いてみた】

三月十二日(金)日 佐藤 貴芳
高橋 苑子

学習のめあて

卒業直前の心境インタビューに答える

- ・友達と離れるのが寂しい…。三年間を振り返るとあっという間だったけど、とても楽しかったです。
- ・月日が経つのがあっという間で、もうすぐ卒業して実感がわかないし…。
- ・太田の美味しい給食を食べられるのもあと少しだな。
- ・みんなと離れるのがちょっと寂しい。あと少しの時間をみんなと大切に過ごしたい。
- ・一日も休んだことのない大好きな太田中から卒業するのでとても不安です。
- ・給食がとても楽しみだったのでも悲しい。式では親に自分の成長を見せられるようにしたいです。
- ・みんなと別れてしまうのはとても切ないです。大切な思い出を忘れず、前へ前へと進んでいきたいです。
- ・残り少ない中学校生活を楽しくむと共に、保護者や先生方に感謝を伝えたいです。高校では自分を律し、自立していきたいです。
- ・思い出いっぱい太田中と離れるのが悲しいです。中学校で学んだことを忘れずに高校でも頑張ります。
- ・入試が終わってほっとしている。卒業式では先生方や親に感謝できるようにしたいです。

一般選抜が終了し「ほっと一息！」なのですが、校内で卒業式準備が始まっているのを見ると、3年生は自分たちの巣立ちの日が近いことを実感し、寂しい気持ちになります。でも、いつまでも太田中に留まるわけにはいきません。もう卒業です。しかしというか、そしてというか、人生はこれからなのです。



そして 卒業式

